

地域医療連携室通信

2006(H18)10月号(第2号)

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

TEL・FAX : 0969 - 62 - 1547(直通)

住所: 866 - 0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419 - 19

電話: 0969 - 62 - 1122(代) FAX: 0969 - 62 - 1546

URL: <http://www4.ocn.ne.jp/~kamiama/>

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠

上天草総合病院(基本)理念

信頼される地域医療

1. 私達は、患者様中心の医療を目指します。
2. 私達は、地域に根ざした心あたたかな医療をめざします。
3. 私達は、安心して退院できる病院をめざします。
4. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。

平成18年度 第2回市民健康講座

「大腸癌と痔について」

上天草総合病院 副院長 福田 誠



平成18年9月9日土曜日 午前10時より松島アロマにおいて、市民健康講座を行いました。褥瘡についての講演の後、私は、「大腸癌と痔について」と題して、講演しました。

下血の原因として、最も頻度が高く、かつ最もポピュラーな疾患である「痔」とについて、その原因および、その予防を中心に話しました。また、下血の原因を痔と決めつけて「大腸がん」が手遅れにならないようにということで「大腸がん」について、下血があれば医療機関を受診すること、また2次予防として、下血がなくても、40歳をすぎたら大腸がん検診を積極的に受けるように、という内容で約40分ほど話しました。

「床擦れ(褥瘡)について」

上天草総合病院 看護師 楠本 恭子



9月9日、アロマにて床ずれについてお話することができ、このような場を作っていた事に感謝いたします。

また、講座に参加していただいた皆様にアンケートを実施したくさんの意見をもらい、激励のお言葉などもありとてもうれしく思いました。

アンケートの中には、<初めて床ずれを見た> <あんなに大きな創になるとは> など驚きの様子も伺えました。

現在、病院での入院期間が短くなり、施設や家庭での療養に頼らざるをえない状況の中、看護師からの視点で話ができ、また地元の方に身近に感じられるような講話となるよう、今後の市民講座に期待し、私自身も地域に根ざした看護ができるよう努力していきたくと思います。

研修会・勉強会報告

9月6日(水) 17:30～ 上天草総合病院 6階講堂
「胃瘻の管理について」
クリエートメディックス

「胃瘻管理について」の勉強会がありました。近隣の病院・老人施設で働いている方々22名と職員60名の参加があり、有意義な時間を過ごしました。

・胃瘻造設時及びカテーテル交換時の一連の過程を知ることで、準備と介助の方法がわかりました。
・胃瘻カテーテルの種類と特徴を理解することで、トラブル発生時どのような対処が必要なのか知ることが出来ました。

・瘻孔周囲の清潔を保持することは大切で、もし皮膚炎が生じた場合が、消毒してガーゼを当てるよりも(術後1週間以降の場合)頻りに流水洗浄を行う方が良いと知りました。また、浸出液による皮膚炎を防止する為の方法として、こより状にしたティッシュペーパーをチューブの周囲に巻く方法が最も良いことを学びました。

今回の勉強会を通して、日頃私たちが行っているケアの方法を見直す良い機会となり、今後に生かしたいと思えます。

看護師 山口 小百合

9月8日(金) 13:30～ 上天草総合病院 6階講堂
第79回 糖尿病教室

消当院6階講堂で13時30分から栄養士の話に始まり、代謝内科部長櫛川先生の糖尿病性腎症の話、歯科・口腔外科部長福田先生から糖尿病と歯周病についての講義がありました。

一年間10回で糖尿病について学ぶ構成になっていますが、一回一回の内容も充実しています。平日の昼間の開催であり参加者は10～20名とばらつきがあります。先日参加者の一人からこんな言葉をいただきました。「私は何回も参加していますが、なかなかわからないことばかりです。でもここにきて皆さんの顔をみると元気が出ます。何か一つでも覚えていってがんばろうと思います。ここで覚えたことをお友達に話して、次回からはお友達も誘って教室に来たいです。」

健康食に興味がある方、最近太り気味の方、どなたでも参加できます。興味があられる方は毎月第三金曜日の午後開催しています。ふるって参加して下さい。詳しくは代謝内科外来へお尋ねください。

主任 看護師 浜崎 浩子

10月の糖尿病教室

「神経障害」 代謝内科部長 櫛川 岩穂

「煙草の害」 内科部長 溝部 孝則



研修会・勉強会予定表

- 10月 7日（土） フローレス・デュオ ライブミニコンサート 15時～ 当院受付ロビー
10月11日（水） NST 勉強会 当院6階講堂
10月26日（木） 倫理委員会研修会 「倫理について」18時～当院6階講堂
10月27日（金） リスクマネジメント委員会研修会
「医療事故発生時対応マニュアルについて」

第12回熊本県国保地域医療学会

日時：10月28日（土） 9：30～

場所：熊本テルサ

当院からの演題発表

「調理師の専門性の向上を目指して」

長田 勝広

「自分達にも患者さまのためにもっと何かできる」との気持ちではじめたこの一年間の取り組みは、調理師全員の意識改革につながりました。病院が経営危機に直面している現在こそ、栄養部門でも採算性を考えた管理を行い、一人一人が管理能力を發揮して業務にあたるのが大切です。「栄養管理はもっとも重要な治療方法の一つである」を栄養科の理念にかかげ、今後もチーム医療の一構成員として調理師の役割を果たしたいと思えます。

「SPDシステムの報告」

平岡 英治

当院では受診者の様々なニーズに対応するために病院の診療体制の整備、改善が行われました。その一環として病院で使用される様々な診療材料の円滑な流通と有効活用をはかるための方策を検討し実行する目的としたSPD委員会が設置されました。円滑な企業活動を行うためには診療材料の適切な配置と運用とが不可欠であることが次第に多くの病院で認識され、一般に病院における診療材料管理体制整備は遅れていましたが、現在ではシステムが多くの病院で採用されており、不良在庫の解消、有効活用さらには保険請求漏れの防止等に効果が認められ始めています。そこで診療材料管理の現状と問題点、今後の展望について報告します。

「きららの里におけるEM活用術

桑原 和彦

～人にやさしい環境にやさしい施設を目指して～

今からの時代は環境問題を避けては通れない。比嘉教授によると全世帯の家庭に利用されるのが理想だが、現実的には50～100世帯に1軒でも利用されるとその地域での環境が良くなってくると言われている。近年、多くの自治体でもEMを通しての町作りが行われている。私たち、きららの里でも本格的にEMに取り組みだしてからはまだ半年足らずであるが、これからも講習会、勉強会など開きながら職員の意識を高め、そして家族、地域の皆様にも役立つ情報を発信していき、人に優しい、環境に優しい施設を目指していきたいと思う。

「MRSAに対する紅茶の及ぼす影響」

下田 加奈

当院ではMRSAによる、院内感染対策として緑茶の殺菌・抗菌作用に着目し、口腔ケアに取り入れてきた。しかし、MRSAの陰性化に繋がらず、あまり効果が期待できなかった。カテキン殺菌作用の違いから、紅茶へと変更し、効果を見ることとした。

人事異動

〔転入〕

10月1日

外科医師 岡村 茂樹



〔転出〕

外科医師 井田 智